



土堂小 自ら学ぶ 学校だより



尾道市立土堂小学校
令和5年6月30日 第5号

〒722-0032 尾道市西土堂町 18-6
電話:0848-23-3921 FAX:0848-23-3922
e-mail:tsuchido-e@onomichi.ed.jp

学校教育目標:志を持ち、未来を拓く子どもの育成



～1学期 学びのまとめ 7月～

1学期も残り1ヶ月となりました。

暑くなって熱中症の心配がありますが、子供達は、水分補給をしながら、外遊びをしたり、水泳学習をがんばったりする姿が見られています。

日々の子供達の姿を見ていると、これまでの積み上げ、そして4月からのがんばりにより、成長を感じるところがたくさんあります。

授業においては、タブレットを学習道具の一部として使いこなし、タブレット上でも友達とつながりながら、自分の考えを伝えたり、友達の影響を受け止めたりしています。タブレットを使うことで、学習意欲の向上、思考力・表現力の育成、主体性や協働性の高まりが見られます。一人一台のタブレット導入により、授業のスタイルが今の時代を生きていくためのスタイルに変わっています。教員も、そこを意識して、自己研鑽に励み、授業の工夫をしております。

生活面においては、「あいさつ」をよくするようになっていきます。先生だけでなく、お客様、バスの運転手さん、地域の方にも自分からするように、日々振り返りながらがんばっています。朝から気持ちの良いあいさつの声が響いています。これからは、「返事」がしっかりできるようにしていきます。

そして、縦割り班での活動を充実させています。上の学年は、自分のことだけでなく、下の学年や全体を見て動くことができるようにしていきます。下の学年は、上の学年の姿を見ながら行動しています。下の学年は、上の学年のお兄さんやお姉さんに、憧れの気持ちをもつことができると思います。

これらの活動を通して、それぞれの学年で成長が見られています。引き続き、全職員で、子供達の成長に向けた教育活動の充実を図ってまいります。

地域の皆様、保護者の皆様、引き続き子供達の見守り、ご支援をよろしくお願いいたします。



地域の先生方に学ぶ

土堂地域には、たくさんの学習材、たくさんの先生がおられます。

1・2年生の生活科、3～6年生の総合的な学習の時間では、地域を生かした学習を創っています。

1・2年生では、商店街の七夕飾りをつくるにあたって、吉原様にお話を聞きました。吉原様には、昨年度もお話していただきました。七夕への思いを高めるとともに、地域の方が七夕まつりのために動いてくださっていることを知りました。

3年生では、尾道市役所の西井様(学芸員)にお越しいたいただき、ベッチャー祭りについて教えていただきました。

4年生では、尾道市役所の岡田様にお越しいたいただき、防災について教えていただきました。

5年生では、商店街や駅前へ出向き、課題探しやインタビュー等を行いました。また、土堂地区の課題について、水越様にお話を聞きました。

6年生では、自分達で感じる土堂地区の課題、地域の人が感じている土堂地区の課題を整理分析しています。その中で、水越様、松本公民館長様のお話を聞きました。

土堂小学校では、準備された学習ではなく、自分達で課題を見つけ、自分達で調べて解決する探究的な学習を充実させています。答えが一つしかない問題ではなく、何が答えなのか分からない中で最適解を見つけていく過程で、一人一人が学びを着実に深めています。

これからも、ますます地域の皆様、保護者の皆様にお世話になると思いますが、ご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。





4年生林芙美子生誕120周年記念行事で発表！

6月17日（土）18日（日）に、林芙美子生誕120周年記念行事が尾道市役所でありました。本校からは、17日（土）に4年生23名が出演しました。

4年生の発表内容は、「土堂小学校校歌」と「学校坂道」の合唱、「放浪記」の朗読、ええじゃんSANSА・がりの踊りを発表しました。広い会場に、100名前後の方が見に来られていました。その中で、4年生は緊張をしながらも、堂々と練習してきた成果を発表していました。会場の皆様の中には、子供達のがんばりに涙を流された方もおられたと聞きました。

その後、音楽と朗読の会「金星音読団」の皆様がされた朗読劇「狐物語」に4年生4名が出演させていただきました。お話の流れに乗って、自分の台詞を上手に言うことができました。貴重な経験をさせていただきました。また、その発表や5年生が描いた絵が掲載されている冊子に感銘を受け、お手紙をくださった方もおられました。人の心を動かせる土堂小学校の子供達は素晴らしいと思います。



自分だったら税金をどう使う？

5月30日（火）に、尾道法人会、尾道税務署の皆様にお越しいただき、6年生で租税教室を行いました。

税金についての知識を学んだあと、実際に税金をどう使うか考えました。「架空の土堂村（子供から高齢者まで住んでいる）をよりよくするために、100万円の税金をどのように使うか」というテーマでした。

少子化問題、インフラの問題、高齢者問題、産業の問題など、様々な問題がある中で、使える税金には限りがある。さて、自分だったらどうするかを考え、グループでまとめていきました。

子供達は、「子供が遊べる場所が必要なのは」「救急車が通れる道が必要なのは」「もっとSNSで土堂村の良さを発信することが必要なのは」など、意見を言い合い、折り合いをつけながら、グループの考えをまとめていました。

普段の生活の中で、子供達は、大人と同じように税金について考えることはありません。しかし、今回の租税教室を通して、身近なものとして捉えるとともに、その大切さと使うことの難しさも実感できたと思います。



3年生自転車教室～安全に自転車に乗ろう！～

6月20日（火）に、尾道警察署・尾道市総務課生活安全係の方に
お越しいただき、3年生の自転車教室を行いました。

自転車は便利ですが、事故にあうことも、事故を起こすこともあります。そうならないように、生活安全課の方から教えていただいたり、考えたりしながら、自転車の乗り方について学びました。自転車を点検する合言葉「ブタはしゃべる」を教えていただきました。

後半は、運動場で、実際に交差点の渡り方や止まり方などをやってみました。みんな注意をしながら、がんばって運転していました。

最近では、大人もヘルメットを着用となっています。子供達にも着用をお願いします。（努力義務）

